

国際会議案内

ISSNP2008/CSEPC2008/ISOFIC2008

(第2回 21世紀の共生型原子力システムに関する国際シンポジウム(ISSNP2008)、
第4回プロセス制御の認知システム工学国際会議(CSEPC2008)及び
第3回原子力プラントの将来型計装制御(ISOFIC2008))

会期: 2008年9月8-10日

会場: 中国・黒竜江省・ハルビン市

ハルビン工程大学 Qi Hang Activity Center <http://english.hrbeu.edu.cn/>

主催: ハルビン工程大学 原子核科学・工学科

協賛: China Atomic Energy Association, Graduate School of Energy Science Kyoto University, Research Divisions of Human-Machine System, Reactor Thermal-Hydraulics & Socio-Environmental Issues Atomic Energy Society of Japan, Human Factors Division America Nuclear Society, Man-Machine System Division Society of Instrument & Control Engineers, Japan Institute for Group Dynamics, OECD/HALDEN Reactor Project, SIGCOM Human Interface Society Japan, Division of Nuclear I&C and Remote Control System Korea Nuclear Society, Symbio Community Forum

会議趣旨

21世紀中期の共生型原子力システムの発展を展望し、下記の4つの領域での新たなアイデアの提起と相互理解の深化に貢献するとともに、とくに東アジア地域の次代の研究者、技術者の人的交流ネットワーク作りのために、2007年7月に福井県敦賀市で第1回ISSNP2007を開催しました。これに引き続き、2008年9月には、中国最初の学科レベルで原子力工学科が設立され、中国で急成長する原子力発電の次世代を担う人材を教育している、ハルビン工程大学 原子核科学・工学科の主催で、ISSNP2008を開催します。今回は、「信頼される安全性」が希求されている原子力分野とそれ以外のプロセス制御一般の研究者・技術者との相互交流も意図して、関連国際会議シリーズのCSEPCとISOFICをあわせて開催します。また、この度は日中韓3国の学生・若手研究者のサマースクール開催を計画しています。以下の4つの研究分野で幅広く論文投稿を期待していますので、学生・若手研究者を始め、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- (1) 計測・モニタリング手法と制御・コミュニケーションのための各種処理法
- (2) システムシミュレーション手法
- (3) ヒューマンインタフェース技術
- (4) 技術の社会・環境との共生に関わる文理融合型研究

詳細は 本会議URL <http://cnst.hrbeu.edu.cn/issnp2008/organizers.html>
を参照下さい。

アブストラクト投稿要領

会議の公用語は英語です。次の項目を含むデータを、会議 URL の応募論文投稿ページで投稿して下さい。

(1)論文の分野、(2)論文タイトルと著者全員の氏名、所属、(3)連絡者の氏名、所属、住所、電話／FAX,E-mail、(4)研究の目的、方法、主要な結果を 500 語以内に纏めた論文要旨

主要日程：

アブストラクト応募締め切り： 2008年1月末日

受理の通知： 2008年3月末日

本論文提出期限：2008年5月末日

会議プログラム及び参加案内： 2008年4月下旬予定

国内問い合わせ先：

シンビオ社会研究会 吉川 榮和 宛 (yosikawa@kib.biglobe.ne.jp)